

第五十八回
帝國議會
貴族議員

盜犯等ノ防止及處分ニ關スル法律案特別委員會議事速記録第一號

付託議案

盜犯等ノ防止及處分ニ關スル法律案

委員氏名

委員長 伯爵二荒 芳徳君
副委員長 花井 卓藏君

侯爵細川 護立君

子爵曾我 祐邦君

富谷銑太郎君

男爵渡邊 修二君

山岡萬之助君

大津淳一郎君

關 直彦君

昭和五年四月三十日(水曜日)午前十時五分開會

●委員長(伯爵二荒芳徳君) 只今カラ盜犯

等ノ防止及處分ニ關スル法律案ノ委員會議ヲ開キマス、政府委員ノ本案提出ニ關スル御説明ヲ煩ハシタイト思ヒマス

●國務大臣(子爵渡邊千冬君) 私ヨリ此法

律案ヲ提出イタシマシタ大體ノ趣旨ヲ、簡單ニ御説明ヲ致シタイト存ジマス、一昨年ノ秋ヨリ冬ニカケマシテ、強盜、竊盜ト云フヤウナモノガ東京府下及其附近ニ非常ニ

第四部第一類 盜犯等ノ防止及處分ニ關スル法律案特別委員會議事速記録第一號 昭和五年四月三十日

各種ノ犯罪ヲ行フタノデアリマス、昨年ノ冬モ亦同様ナコトガアリマシテ、貴族院ニ於キマシテモ此事態ヲドウカシテ良クシナケレバナラヌト云フヤウナコトハ、多數ノ人ノ心配サレテ居タコトデアアルノデアリマス、ドウシタラバ斯ウ云フコトヲ防グコトガ出來ルカ、殊ニ強盜ガ續々良家ヲ襲フ、或ハ説教強盜トカ、或ハ講談強盜トカ云テ、人ノ家ニ入ッテ數時間其處ニ居据ッテ、夜ノ明ケルノヲ待ッテ悠々トシテ出テ行クト云フヤウナ傍若無人ノ行ヒヲ致シタノデアリマス、所謂帝都都不安ト云フ聲ガ大分其頃唱ヘラレタノデアリマスガ、何人モ其事態ニ對シテ憂慮シナイ者ハナカッタノデアリマス、是等ノ事ガ原因トナリ、動機トナリマシテ、玆ニ斯ウ云フ盜犯等ノ防止及處分ニ關スル法律案ト云フ單行法ヲ制定スルコトガ必要ナリト云フコトヲ考ヘタ次第デアアルノデアリマス、此單行法ヲ制定……原案ヲ制定イタスニ付キマシテハ、司法省ニ刑法委員會ト云フモノガアリマシテ、刑法編纂ノコトニ從事シテ居ラレル朝野ノ刑法學者ガ澤山居ラレルノデアリマスガ、其中カラ小委員ガ出來マシテ、此單行法ノ原案ヲ作ル

コトニ付テ骨ヲ折ラレタノデアリマス、其中ニハ殆ド我國ノ刑法學者ノ主ナル人ミヲ網羅サレテ居タノデアリマス、今日御出席ニナッテ居リマス花井博士ノ如キハ、此小委員ノ委員會ノ委員長トシテ専ラオ骨折ニナッタノデアリマス、其結果トシテ此案ガ出來タノデアリマス、色ミナ關係ガアリマシテ議會ニ提出イタシマス時ニ多少其案ヲ變ヘタノデアリマス、併シ大體ニ於テ其案ノ精神ハ採用シテアルノデアリマス、此法律案ハ此名ノ示シテ居リマス通り、盜犯ヲ防止スルコトヲ主タル目的デアアルノデアリマス、併ナガラ第一條ノ第三號ニアリマスガ如ク、盜犯ナラザル場合ニ適用ノアルモノモアリマスカラ、盜犯等ノ防止云々ト云フコトヲ題ト致シタ譯デアアルノデアリマス、此法律案ハ現在ノ刑法ノ改正案デハナイノデ、現在ノ刑法ノ精神ニ變更ヲ加ヘルコトヲ目的トシタノデナクシテ……チヨット私間違ヒマシタガ、第一條ノコトヲ申シテ居ルノデアリマス、此正當防衛權ト云フモノハ現在ノ正當防衛權ノ規則ヲ變更スルコトヲ目的トシテ居ルノデナイノデアリマス、現在ノ規定ニ於キマシテハ、餘リ其用字ガ

抽象的デアリマス爲ニ、正當防衛權ナルモノニ付テ多數國民ハ明確ナル觀念ヲ有スルコトガ甚ダ困難デアリマス爲ニ、從テ正當防衛權ト云フモノヲ行フ場合ガナイ爲ニ、不當ニ侵害者ニ權利ヲ侵害サレルト云フコトガアルガラウト云フ所カラシテ、玆ニ具體的ノ規定ヲ設ケヤウトシテ、斯ウ云フ案ヲ作タノデアリマス、ソレカラ第二條以下ハ現在ノ強盜、竊盜……殊ニ竊盜ノ方ニ行フノデアリマスルケレドモ、是等ハ殆ド累犯ヲ爲サヌモノハナイト言ッテモ宜イ位ニ、刑務所カラ出テ來レバ又直グニ刑務所ニ這入ルト云フヤウニ、今日ノ刑法ノ規定ダケハ其懲罰ガマダ十分デナイト云フノデ、常習犯ニ限ッテ重モニ之ヲ罰スル、サウ云フ精神デ以テ此二條以下ガ出來テ居ルノデアリマス、是ガ此法律案ヲ制定イタシマシタ大體ノ趣旨デアリマス、各條ニ互リマシテ詳細ノ點ハ御質問ニ應ジマシテ、私又ハ政府委員カラ十分御答ヲ致シタイト考ヘテ居リマス

●委員(伯爵二荒芳徳君) 御質疑ハゴザイマセヌカ

●花井卓藏君 此案ガ少シ變ッテ居ルヤウ

デスガ第一條ニ……第一條第二號及三號、此處ニ書イテアル此船舶ト云フ文字デス、此御説明ヲ一ツ煩ハシタイト思フノデアリマス、尙ホ又第二條ノ第三號四號ニ艦船ト云フ文字ガ書イテアリマス、此御説明ヲ煩ハシタイト思ヒマス、一條ニアル船舶、二條ニアル艦船、而シテ罪トシテ責任ヲ問フベキ場合ノ客觀觀察トシテ、此文字ガ一條ト二條トニ依ッテ區別ガアルカノヤウニ感ゼラレルノデスガ、其邊ヲ一ツ御説明ニナッ

タラ如何デアリマスカ、一條ニ所謂船舶トハ如何ナル意義ナリヤ、二條ニアル艦船ノ文字ハ如何ナル意義ナリヤ

●政府委員(泉二新熊君) 第一條ノ船舶ハ軍艦ヲ含マナイ積リデアリマス、ソレカラ第二條ノ艦船ハ軍艦ト船舶兩方ヲ入レルト、斯ウ云フ積リデハ書分ケテアル趣意デアリマス、第一條ノ場合ニ於キマシテハ斯ウ云フ正當防衛ト云フ方カラ見マシタナラバ、軍艦アタリ……軍艦ニハ殆ド必要ガナイダラウ、非常ニ力ノ弱イ、備ヘノ弱イモノガ正當防衛ヲスルト云フコトニ付テ特ニ必要ノアル規定デアルカラ、一條ハ軍艦マデ入レルコトガ却ッテ何ダカオカシイヤウデア、之ニ反シテ二條ノ方ハ、此犯罪人其者ノ處分ニ對スル規定デア、ルノダカ

ラ、一條ト趣キガ違フノデ、二條ノ場合ニ認メテアル犯罪ノ處分ニ付テハ、矢張り軍艦マデモ入レテ置ク方ガ宜カラウ、斯ウ云フ趣意デ司法省並ニ法制局ナリノ會議ノ、協議ノ結果、兩方區別スルコトニシテ居ルノデアリマス

●花井卓藏君 私モ大體サウ云フコトダラウト思ッテ、部會デモサウ云フ説明ヲシタノデスガ、本院委員中、陸海軍ニ關係アル人ノ幾部ノ意見トシテ承ハッタノデスガ、一條ノ各號ノ規定ト、二條ノ各號ノ規定ト對照シテ見テ、唯今政府委員ノ説明ノ如キコトデハ諒解ガ出來カネル、二條ノ場合ニアリ得ルコトナラバ、一條ノ場合ニモ當然アリ得ルモノト解釋シナケレバナラスト云フヤウナコトヲ言フ人ガアリマスガ、寧ロ一條ニモ、一條ノ船舶ト云フ文字ヲ改メラレテ、艦船トセラレタ方ガ宜クハナイデスカ

●政府委員(泉二新熊君) 實ハ本案ノ最初カラノ經過ヲ申上ゲマスト、文字ヲ兎ニ角合セルト云フ點カラ申シテ、一條モ二條モ同ジ船舶トスルガ宜カラウト云フ、最初ノ草案ハサウ云フコトニナッテ居ッタノデアリマスガ、段々研究シマシタ結果只今申上ゲマシタヤウニ、一條ト二條トハ兎角趣意ガ違ウ、ソレダカラ一條ニハ軍艦ヲ入レル

ト云フコトハ如何ニモオカシイト云フコトカラ、研究ノ結果斯ウ云フ區別ヲスルコトニナッタノデアリマスガ、實際カラ申シマスト其文字ガ……一條ニサウ云フ文字ガ、軍艦ト云フ文字ガアリマシテモ差支ハナイ、少シ蛇足ヲ添ヘルヤウナコトニナルノデハナイカ、少シオカシイデハナイカト云フ感

ジガスルト云フダケデアリマシテ、實際上差支ナイコトデアリマスカラ、政府委員トシテハ、之ヲ入レルコトニ付テ強ヒテ反對ハ致シマセスガ、此儘行ク方ガ綺麗ヂヤナイカト思ヒマス

●花井卓藏君 最初ノ案ガ私ハ宜イト思フノデ、後ノ研究ノ結果ガ甚ダ惡イト思フ、一條ノ場合ニ軍艦ヲ想像スル、殆ド必要ハアルマイト言ハレタノデア、第二條ノ場合ナドハ、殊ニ軍艦ヲ想像スル必要ハナイダラウト思フ、軍艦ニ泥棒ガ這入ルナン

ルカ、ソレヲ承ハリタイ

●政府委員(泉二新熊君) 最初ノアリ得ルアリ得ナイト云フ點カラ考ヘマスト、一條モ二條モ同ジコトト思ヒマスガ、唯兩方トモアリ得ルト云フコトハ想像サレマスケレドモ、一條ノ方デハ斯フ云フ規定ヲ以テ正當防衛ヲシナケレバナラスト云フヤウナコトヲ考ヘルコトガ、軍艦ニ對シテ少シ却ッテオカシイヂヤナイカト云フ感ジガスルダケノコトデアリマス

●關直彦君 チョット伺ヒマスガ、第一條ノ「左ノ各號ノ場合ニ於テ」ト云フ何ヲ書出シニシマシテ、「自己又ハ他人ノ生命、身體又ハ貞操ニ對スル現在ノ危險ヲ排除スル」トアリマスガ、此正當防衛ノ場合ハ如何ナル場合ニモ自己ノ生命或ハ他人ノ生命、身體又ハ貞操ニ對スル危險ヲ排除スル場合ニ適用スルモノデアッテ、此處ニアリマスル「左ノ各號ノ場合」ノミニ於テ正當防衛ノ行為アルモノトスルト云フト、チット狭クナルヤウナ感ジガシマスガ、必ズシモ「左ノ各號ノ場合ニ於テ」デナケレバ斯様ノ場合ヲ正當防衛ニ解釋スルコトハ出來ナイ意味ニナリマスガ、其邊ヲチョット……

●政府委員(泉二新熊君) 便宜上モウ少シ一條ノ趣意ヲ詳シク申上ゲテ置キタイト思

ヒマスガ、只今ノ御質問モ自ラ只今申上ゲ
ル説明デ御諒解下サルコト思ヒマス、大
臣カラ大體ノ説明ガアリマシタヤウニ、此
第一條ノ規定、殊ニ此第一項ハ現行刑法第
三十六條正當防衛ノ規定ヲ別ニ變更スル趣
意デハナイノデアリマシテ、ソレデ本文ノ
第一項ニ「第三十六條第一項ノ防衛行為
アリタルモノトス」ト云フ文句ヲ使、使、テ
アルノデアリマス、此處ニ規定シテアリマス
ヤウナ場合ハ、大體現行法ノ解釋トシテ正
當防衛ト見得ルコトデアルト思フノデアリ
マス、餘リ現行法ノ規定ガ措辭ガ廣過ギル
ノデ、果シテ斯ウ云フ場合ニ正當防衛ト云
フコトデ處罰サレナイモノデアルカドウカ
ト云フコトハ、ハッキリシナイト云フ疑ヒモ
持ッテ居ル、ソレデ斯ウ云フ場合、殊ニ此一
號、二號、三號ノヤウナ場合ガ一番其問題
ガ多ク起ルノデ、生命、身體、貞操ニ對シテ
直接ニ急迫不正ノ侵害ノアル場合ナラバ、
是ハモウ正當防衛ノ出來ルモノト誰モ疑ハ
ナイノデアリマス、所ガ此處ニ書イテアリ
マスル場合ガ、一號、二號、三號ノヤウナ
事實、即チ是モ急迫不正ノ侵害ニ當ッテ居
ルニハ相違アリマセヌガ、急迫不正ノ侵害
ガアリマシテモ、之ヲ防衛スル爲ニ爲ス所
ノ加害行為ノ程度ガ何處マデ行ッテ宜イカ

ト云フコトニ付テ、學者ノ間ニ大分議論ガ
アルコトデアリマス、其議論ノアル事柄ノ
總テヲ此處デ解決スルト云フコトハ實ハ必
要デナイノデアリマス、特ニ近來ノ實際ノ
事實ニ徴シマシテ、少クトモ斯ウ云フ場合
ニハ三十六條ノ適用ニ依ッテ罰シナイト云
フコトニナルベキモノデアルト云フコト
ヲ、明カニシテ置ク必要ガアルト云フ事柄
ダケヲ、此處ニ擧ゲタ積リデ書キマシタ、
ソレデ一號、二號、三號ノヤウナ事實ガア
リマシタ場合ニハ、正當防衛ノ出來ルコト
ハ出來マスガ、其程度ニ關シテ、即チ程度
ヲ超エタトカ、超エヌトカ云フ問題ガ起ッ
來ル、サウ云フ場合ニ何時デモ殺傷シテ宜
シイト云フコトニシテ置キマス、餘リ又
行過ギルデアラウ、ソコデ此本文ニ書イテ
アリマスルヤウニ、一號、二號、又ハ三號
ノ事實ガアッテ之ヲ防ガウトスレバ、自己又
ハ他人ノ生命財産又ハ貞操ニ對スル危險ヲ
感ズルト云フ場合、例ヘバ居直リ強盜ト云
フヤウナ風ノ、或ハ初メカラ強盜ニ入ッテ來
ル者ガ、所謂説教トカ講談ナドノヤウナ者
デ、三時間モ四時間モ部屋ニ寢泊リシテ、
滞在ラシテ行クナント云フヤウナ者ガアリ
マス、サウ云フ場合ニ、刑法ノ所謂急迫不
正ノ侵害ト云フモノガ其處ニ存シテ居ルト

云フコトハ、見ヤウニ依リマシテハ少シ認
定シ難イケレドモ、少クトモ現在危險ガア
ルト云フコトハマア言ヘヤウ、サウ云フ狀
況ガアッテサウシテ一號乃至三號ノヤウナ
事實ガアル場合ニハ、殺傷マデヤッテモ程
度ヲ超エタモノトハ見ナイ、正當防衛トソ
レハ見ルト云フ法律上ノ解釋ヲ與ヘル、皆
解釋ハ現行法ノ解釋トシテモ、或學說カラ
申シマスレバ其通りニナルト思ヒマス、併
ナガラ反對ノ學說モアルデアリマスカラ、
其學說ニ委シテ置クト或ハ斯ウ云フ結果ニ
ハナラナイカモ知レナイ、デ少クトモ此部
分ニ付テハ三十六條ノ解釋トシテ、是ハ正
當防衛ニナルノデアルト云フ立法解釋ヲシ
ヤウト、斯ウ云フ趣意デアアルノデアリマス
此外ニ舊刑法、是ハ三百二十五條、ソレカラ
佛蘭西刑法ノ三百二十九條、ソレカラ英法
ノ本文ニ、之ニ對應スルヤウナ一部分ノ規
則ガアルト申上ゲテ宜シイノデアリマスガ、
此舊刑法三百二十五條ニハ「財産ニ對シ放火
其他暴行ヲ爲ス者ヲ防止スルニ出デタルト
キ」ト云フコトガアリマスケレドモ、サウ
云フ場合ハ是ハ矢張り現行刑法三十六條ノ
解釋デ行ケバ宜シイノデ、尤モ今日ノ事象
ニ即シテ我々ガ必要ヲ感ズル部分ダケハ、
此方ヘ持ッテ來テ擧ゲタ方ガ宜イ、斯ウ云フ

趣意デ此規定ヲ設ケタ次第デアリマス、尙
ホ序デニ申上ゲテ置キタイト思ヒマスガ、
此第一條ノ第二號デゴザイマス、是ハ現行
刑法ニハ相當ノ規定ハ無いノデアリマス、
ソコデ第二項ノヤウナ場合ガアリマス云
フト……事實ガアリマス云フト、場合ニ
依リマシテハ現行法ト致シテモ第三十九條
ノ第一項ニ依リマシテ「心神喪失者ノ行為
ハ之ヲ罰セス」ト云フ規定ニ當ルモノト解
釋ノ出來ル場合ガ有リ得ルノデアリマス、
ケレドモ一體是ガ矢張り程度デ、急迫不正
ノ侵害ト云フモノハ實際ハ無いノデアリマ
スケレドモ、其侵害ガアル爲ニ斯ウ云
フ……チヨット申シ違ヒマシタガ、ソレハ現
在危險ト云フ程ノ事實ハ無いニシテモ、恐
怖、驚愕、興奮等ニ依ッテ判斷力ヲ失ッテ殺傷
スルト云フ場合ガ有リ得ルノデアリマス、
矢張り侵害ト云フ事實ト關聯シテ行クコト
デアリマスカラ、責任能力ノ所ニ規定スル
ヨリモ、正當防衛ノ方ニ併セテ規定スルト
云フコトガ便宜デアッタ、サウ云フ意味デ外
國ノ立法例ノ内ニモ斯ウ云フ規定ハ正當防
衛ノ所ニ設ケテアルノデアリマス、要シマ
スルニ是モ別ニ現行刑法ニ明文ハアリマセ
ヌケレドモ、此規定ハ明文ガナイカラト云
ッテ現行法ト絶對的ニ合ハナイヤウナ規定ヲ

茲ニ新タニ設ケタノデハナクシテ、解釋ノ仕様ニ依ッテハ大體結果ハ同ジコトニ歸著スルデアラウ、一般ノ場合、斯ウ云フ規定ハ現行法ニハ規定ハ無イケレドモ、特ニ茲ニ規定ヲ設ケル際ニハ之ヲ明カニシテ置ク方ガ宜カラウト云フ趣意デアリマス、ソレカラ恐怖驚愕與奮狼狽ト云フ事柄ハ大抵關聯シテ居ルコトデアリマシテ、絶對的ニ恐怖ト驚愕トヲ區別スルトカ、興奮ト狼狽ト區別スルコトハ出來ナイカモ知レマセヌ、又外國ノ立法例ニソシテ皆ナ學ゲテアルノモアリマセヌガ、成ルベク斯ウ云フ場合ハ多ク擧ゲテ置ク方ガ宜カラウ、少シ位ハ重複シテモ宜イカラ、成ルベク多ク擧ゲテ置ク方ガ宜カラウト云フノデ是ダケ列擧シテアルノデアリマス、マア大體是ダケ御説明シテ置キマス

メナイカモ知レマセヌガ、一方ノ學說カラ申シマスレバ、是ハ矢張り現行法ノ解釋トシテ正當防衛ト認メ得ルコトデアル、ソレヲ立法解釋トシテ茲ニ擧ゲタノデアアル、斯ウ申上ゲタ方ガ宜カラウト思ヒマス

●關直彦君 分リマシタ

●富谷銆太郎君 私モチョット伺ヒタイノデアリマス、文字デスガ重要ナ文字デスカラ、恰モ副委員長カラモ御問ヒガ起ッタノデアリマスガ、艦船ノ艦ト云フコトハ主トシテ軍艦若クハ之ニ屬スル船ヲ云フノデスカ、此文字ノ使ヒ方ニ依ッテハ少シ違フト思フ、違ッタ解釋ガ出來ルヤウナ場合モ起リヤシナイカト思ヒマス、艦ノ字ガ惡ケレバ船舶トシテモ宜イ、ソコデ伺フノデアリマスガ、是ハ海軍省アタリノ人ト交渉ノ上デ、御調ベニナッテ御使ヒニナッテ文字デアルカ、又若シサウ云フモノデアルカ無イカハ知リマセヌガ、ドウ云フコトニシテモ海軍省アタリハ、艦ト云フモノハドウ云フコトニ使フト云フヤウナコトヲ、御調ベニナッテコトガアリマスルナラバ其御調ベニナッテコト、及ビ、事例ガアレバ事例ヲ御示シ下スッタナラバ大變ニ宜イダラウト思ヒマス、軍艦ニハマア斯ンコトハナイト思ヒマスガ、内ニ居ルヤツデ惡イコトヲスル

ヤツガ有リ得ルト言ヘバ想像ガ出來得ルノデアリマス、ケレドモ日本ノ軍艦ハ世界ノ中デ先ヅ一番正シイ良イ軍艦ト見ラレテ居リマス、他國アタリデハ斯ウ云フ例ガアルカモ知レマセヌケレドモ、日本ノ軍艦デハ私ハソレ程ニ、現在ノ狀況デハ左様ナコトハ萬ナカラウ、斯ウ云フマア推定ヲスルコトガ出來ヤウト思ヒマスケレドモ、併シ是ハ法律上隨分大切ナ文字デアッテ、此法律ハ何時マデ用ヲナスカ分ラナイ、此文字ノ使ヒ方ハ餘程考ヘテ置カナケレバナラスト思ヒマスノデ伺フノデアリマス、只今ノ通り要點ハ詰リ、御調ベニナッテコトガアルカ無イカ、アレバ海軍省アタリノ意見ハドウ云フコトデアッタカト云フコトヲ伺ヒタイノデアリマス、若シ其コトニ付テ答ガアッタナラバ、事例ヲモ御示シ下サルコトヲ希望シマス

シテハ、御承知ノヤウニ現行刑法ノ第一條ニハ船舶ト云フ文字ガアリマシテ艦船ト云フ文字ハナイノデアリマス、之ニ反シマシテ放火罪等ノ場合、或ハ往來妨害罪等ノ規定ニ於テハ艦船ト云フ文字ガアルノデアリマス、ソレデ、艦船ト云ヘバ軍艦ト船舶、單ニ船舶ト云ヘバ軍艦ハ含マナイト云フノガ、先ヅ今日ノ日本ノ法令ニ於テノ言葉ノ使ヒ分ケニナッテ居ルヤウデアリマス、マア軍艦ハ武裝シタル船舶デアルト云フ意味ニ於テ、船舶ノ中ニハ軍艦ヲ含ムト云フ解釋モ出來ナイコトハナイヤウデアリマスケレドモ、今日ノ日本ノ法令デ使用シタル文字トシテハ兎ニ角使ヒ分ケテアルヤウデアリマス、此案ト致シマシテハ一條ト二條ニ於テ斯ウ云フ風ニ區別ヲシテ、一條ハ軍艦ヲ拔キニシテ、第二條ハ軍艦ヲ入レルコトガ宜シイカドウカ、又只富谷委員カラ御質問ノアリマシタ趣旨ヲ付度イタシマスルト、二條ノヤウナ場合モ寧ロナイト云フ方ガ宜インデヤナイカト云フ御趣意ノヤウニモ伺ヒマスガ、實際ト致シマシテハ實ハ二條ノ方モサウ澤山ハナカラウト思ヒマス、從ッテ二條カラ軍艦ヲ除イテ、艦船ト二條ニ書イテアルノヲ、船舶ト云フコトニシタラバドウカト云フ御意見ノヤウデアリマス、ソレモ御無理ノナ

●關直彦君 サウシマスルト、原則ハ原則

デ、此案ニ依リマスルト是ダケノ範圍ヲ擴張メタト云フヤウニ解釋イタシテ宜シイノデスカ

●政府委員(泉二新熊君) 範圍ヲ擴張メタト

申シマスヨリモ、先刻申シマシタヤウニ、是ハ現行法ノ解釋トシテ、斯ウ云フ場合ハ矢張り正當防衛ト云フコトヲ認メ得ルノデ、但シ學說ニ依ッテハ必ズシモソレヲ認

●政府委員(泉二新熊君) 此案ヲ作リマス

ル際ニ、艦船ト云フ文字ノ使ヒ方或ハ其意味ニ付テ、特ニ海軍ノ方ノ意見ヲ聽イタコトハナイノデアリマス、尤モ此刑法委員會デ此案ヲ審議シテ貫ヒマシタ際ニ、海軍省ノ傍聽委員ガ出テハ居リマシタ、ケレドモ特ニ艦船ト云フ文字ノ意味ニ付テ其際ハ質問モ何モナカッタノデアリマス、刑法ノ改正ニ付キマ

シテハ、御承知ノヤウニ現行刑法ノ第一條ニハ船舶ト云フ文字ガアリマシテ艦船ト云フ文字ハナイノデアリマス、之ニ反シマシテ放火罪等ノ場合、或ハ往來妨害罪等ノ規定ニ於テハ艦船ト云フ文字ガアルノデアリマス、ソレデ、艦船ト云ヘバ軍艦ト船舶、單ニ船舶ト云ヘバ軍艦ハ含マナイト云フノガ、先ヅ今日ノ日本ノ法令ニ於テノ言葉ノ使ヒ分ケニナッテ居ルヤウデアリマス、マア軍艦ハ武裝シタル船舶デアルト云フ意味ニ於テ、船舶ノ中ニハ軍艦ヲ含ムト云フ解釋モ出來ナイコトハナイヤウデアリマスケレドモ、今日ノ日本ノ法令デ使用シタル文字トシテハ兎ニ角使ヒ分ケテアルヤウデアリマス、此案ト致シマシテハ一條ト二條ニ於テ斯ウ云フ風ニ區別ヲシテ、一條ハ軍艦ヲ拔キニシテ、第二條ハ軍艦ヲ入レルコトガ宜シイカドウカ、又只富谷委員カラ御質問ノアリマシタ趣旨ヲ付度イタシマスルト、二條ノヤウナ場合モ寧ロナイト云フ方ガ宜インデヤナイカト云フ御趣意ノヤウニモ伺ヒマスガ、實際ト致シマシテハ實ハ二條ノ方モサウ澤山ハナカラウト思ヒマス、從ッテ二條カラ軍艦ヲ除イテ、艦船ト二條ニ書イテアルノヲ、船舶ト云フコトニシタラバドウカト云フ御意見ノヤウデアリマス、ソレモ御無理ノナ

イコトデアルトハ思ヒマス、ダカラ其點ニ付キマシテモドウシテモ二條ニ艦ノ字ガナケレバ非常ニ困ルト云フコトハナイヤウニ私ハ思ヒマスガ、大體今マデ司法省デ研究イタシマシタ結果ハ先刻申上ゲタ通りデアリマシテ、矢張り大體カラ言ヘバ斯ウ云フ風ナ區別ガ一番穩當デハナカラウカト云フコトヲ考ヘテ居ルノデアリマス

●富谷銚太郎君

尙ホモウ一ツ今ノ續キデ

スガ、私ノ知ラムト欲シタノハ艦ト云フ字デ、艦ノ文字ノ使ヒ方デ、是ハ軍艦ハ無論サウデセウガ、艦ト云フコトダケニナッテ

居ル場合ニ、軍艦ニ屬スルモノガ幾ラモアルダラウト思ヒマス、戰時ノ時ナドハ最モソレガアルダラウト思フ、或ハ運送船ヲ一時軍艦ニスル場合モアリマセウ、軍艦ニセヌ場合デ運送船ヲ引イテ行クト云フヤウナ場合、サウ云フヤウナ場合ニ糧食ヲ運ビ、石炭ヲ運ブニ必要デアリマセウガ、詰リ軍事ノ必要品ヲ運送スルノニハドウシテモ船ヲ使ハナケレバナラヌ、サウ云フ場合ニ此艦船……軍艦ト船ト云フ字ガアレバサウ云フ所ニ這入ルノダカラ差支ヘナイノデアリマスガ、此艦ト云フ方ノ使ヒ方ハドウ見テ居ルカト云フコトヲ、實際ノ應用上ドウシテ居ルカト云フコトヲ、實ハ知リタイト云

フコトヲ私ハ主トシテ質問シタ積リデアリマス、言ヒ方ガ惡カッタカモ知レマセヌガ、其艦ト云フ文字ヲドウ云フ風ニ使ッテ居ルカト云フコトヲ伺ヒタイノデアリマス、ソレハ主トシテ海軍ノ方ガ宜カラウト思ヒマス

●政府委員(泉二新熊君)

其點私達ノ考デ

ハ、例ヘバ戰爭中ニ軍需品ヲ運搬スル、普通ノ船舶、商船デ之ヲ運搬スルト云フ場合ニ之ヲ軍用船ト云フ、不斷デモ何カサウ云フ公用ノ運搬ヲスル場合ニ、公用船ト云フコトニハ申シマスケレドモ、軍艦トハ言ハナイヤウニ考ヘテ居ルノデアリマス、ソレデ不斷ハ船舶ニ使ッテ居ルケレドモ、戰時中ニ大砲ヲ一門トカ二門トカ積ムコトヲ許サレテ居ルナドト云フヤウナ武裝ヲ許サレタ場合ニ、之ヲ軍艦ト見ルカ矢張り船舶ト見ルカ、斯ウ云フヤウナ細カイ問題ニ付キマシテハ、特ニコチラデ私ノ意見ヲ申上ゲルコトハ出來マセヌガ、此點ニ付テ尙ホ海軍ノ方ニサウ云フ用語ニ付テノ慣例デモアレマシタナラバ、ソレヲ聞合セマシテ御答ヲ申上ゲルコトニ致シマセウ

●花井卓藏君

私ハドチラデモアリ得ル場合ヲ想像シテ出來タ立法トスレバ、一條モ二條モ艦船ト云フ字ニ揃ヘラレタ宜カラ

ウカト思フ、又一條モ二條モサウ云フ場合ガナイデアラウト云フコトヲ想像シテ立法スルモノトスレバ、富谷君ノ言ハレル通り……言ハレハシマセスケレドモ言ハレムト欲スル通り、船舶ニ揃ヘマシタ方ガ宜カラウト思フ、立法例ヲ見ルト艦ヲ認メルモノハナイヤウデアリマス、船ノミヲ認メテ

居ルヤウデス、諸君ノ御手許ニアル參考資料ノ三頁ニ、獨逸刑法第二百四十三條第七號ニ「建造物及人ノ住居スル船舶ハ之ヲ人ノ住居セル建造物ト見做ス」、八頁ニ、千九百二十七年獨逸刑法草案第三百三十條ニ「建造物、住居、執務所、船舶」云々、其他ノ立法例ニモ船ハ認メデアリマスケレドモ、艦ヲ認メテ居ルモノハナイヤウニ考ヘマス、サウスルト富谷委員ノ述べラレタ趣旨ヲ考ヘテ見ルト、艦ナドハ慮ラヌ方ガ却テ宜クハアルマ

イカ、色ミ用語ノ上ニ於テモ混雜ヲ來スヤウナコトモアラウシ、又實際一條二條ノ場合、艦ヲ慮ルナドト云フヤウナコトノアリ得ナイト云フヤウニ見レバ、船舶ニ揃ヘラレル方ガ宜カラウ、觀察ハ二タ通りアルガ、何方ニシテモ揃ッタ方ガ宜カラウト云フコトニ歸省スルノデアリマスガ、船舶デ揃ヘタ方ガ宜カラウト云フ感モ起リマス、序ニ之ニ牽聯シテ伺ヒマスガ汽車……乗合自動車

モ御尋ネシタイガソレハ格別感ジマセヌガ、汽車ニ付テハ實際ノ例モアッテ、一條ノ場合、二條ノ場合ノ慮リアルヤウニ考ヘラレルノデス、汽車ノ中ヘ行ッテ強盜強奪ヲスル、殺傷ヲスル、既ニ是ハ實例ガアルノデスカラ……、何レ是ハ暫定的ノ法律デスカラムヅカシイコトハ注文ハシマセヌガ、樂ニ其文字ヲ書入レラレタラドンナモノカト思フノデスケレドモ、唯是ハ何レ近ク法典ガ出來ルデセウカラソレ迄ノ事デスガ、船ノ場合ヨリ汽車ノ場合ノ方ガ心配ガ多イヤウニ思フデス

●政府委員(泉二新熊君)

此法案デ慮リマ

シタノハ、サウ云フ軍艦デアルトカ汽車デアルトカト云フヤウナ多數人ガ居ル、所謂防禦力ガ割合ニ薄弱デナイト云フ場合ヨリモ、人ノ住居ト云フ風ニ、人ノ看守スル邸宅、之ニ準ジマシテ極ク防禦力ガ少クテ、サウ云フ所ニ長居ナドサレテハ實ニ迷惑、危險千萬デアルト云フヤウナコトデ、最近

ニ於テモ帝都ヲ御承知ノヤウニ震駭サセタヤウナ事實ヲ、最モ緊要ナルコトトシテ慮ッタノデアリマシテ、汽車デ御話ノヤウニ人殺ノアッタ例モアリ強盜モアリマスケレドモ、説教強盜ダトカ、講談強盜ダトカト云フヤウナ種類ノ、即チ此法律ノ特ニ心配シ

テ居ルヤウナ事實ハ餘リナイヤウデアリマスカラ、此法律案トシマシテハ、暫定的ニ先ヅ最モ緊要ナル場合ダケニ限ッテ置ク方ガ却テ宜クハナカラウカト思フノデアリマス

●關直彦君 今花井サシノ御話ノヤウニ汽車ノ中ノ場合ナドニ於テモ、最モ危險ヲ感ジタ場合ニ於テヤッテシマッテモ、正當防衛ト看做シテモ差支ナイヤウニ思ハレマスガ如何デスカ

●政府委員(泉二新熊君) ソレハ御話ノ通リダト思ヒマス、現ニ生命、身體、貞操等ニ對シテ存在スル場合ニハ當然ニ是ハ三十六條デ行ケル積リデアリマス

●大津淳一郎君 チョット伺ッテ置キタイノデスカ、船舶デ大變御質問ガアッタノデスカ、船ノ中デ軍艦、即チ是ハ軍艦ヲ、刑法ノ中ニ當リ前ノ船舶ト艦船ト使ヒ分ケタ實例ガアルノデゴザイマスカ、船ト云ヘバ軍艦モ何モ皆合セテシマッテ船デ通用スベキ筈、船ハ總稱ナンデス、水上ヲ浮ンデ歩クモノノ運送船デモ軍艦デモ皆同ジ、船ハ總稱ナンデ、船舶ト云ヘバ勿論軍艦ヲ含ンデ宜イ筈デアリマスカレドモ、我國ノ刑法ハ是マデ船舶ト艦船トシテ何カ軍艦ヲ別ニ見テ置イタ實例ガアルノデゴザイマスカ、サウ

是マデ日本ノ刑法ニ別ニ分ケテ置イタモノトスレバ、ソレハ又一ツノ考ヘデアリマスケレドモ、寧ロ艦船ト云フ字ヲ使ハナイデ、船ト云フモノハ水上ニ浮ンデ居ルモノノ、動クモノノ總稱ト云フコトニ見デ、何ノ危險モナカラウト思フノデアリマスケレドモ、少シ是マデドウナッテ居ルカラ一ツ私ハ御伺ヒ致シタイノデアリマス

●政府委員(泉二新熊君) 只今御話ノヤウニ船舶ト云フノハ普通名稱デアリマシテ、軍艦モ矢張り船舶ノ一種デアルト云フヤウニ我ニハ觀念スルコトガ出來ルト思ッテ居

リマス、外國ノ立法例ヲ見マスト、殊ニ獨逸デアルトカ英吉利アタリヲ見マスト云フト「シップ」トカ「シッス」ト云フ言葉ヲ使ヒマス、ソレニ御承知ノヤウニ「バトルシップス」「ワーシップス」或ハ「クリーグスシッブ」ト云フヤウナ「戦争ノ」ト云フ形容詞ヲ附ケテ、初メテ何ノ軍艦デアルト云フ風ニ區別スルコトニナッテ居ルヤウデアリマス、

所ガ日本ノ此法令、殊ニ刑法デハ特ニ第一條ハ帝國船舶ト云フ文字ヲ使ッテ居リマス、所ガ百八條アタリニハ船舶ト云ハナイデ艦船ト云フ文字ヲ方々ニ使ッテ居ルノデアリマス、ソレデ日本ノ用語トシマシテハ、殊ニ刑法ニ於キマシテハ、船舶トダケ云フ時ニ

ハ軍艦ヲ含ンデ居ラナイモノデアルト云フ解釋ヲスルコトガ先ヅ通説ニナッテ居ル譯ナンデゴザイマス

●富谷銈太郎君 是ハ質問ダケニナッテ居ルノデスカ、總テ……

●委員長(伯爵二荒芳徳君) 實ハ質問ノ意味デ御願ヒ致シテ居リマスガ、變ヘテハドウデアルト云フ……、質問トシテ伺ッテ居

タ譯デアリマス、實ハ時間モ餘リナイ際デゴザイマスカラ、質問ノ體デ相當ノ所マデ御話ヲ願ヒタイ

●富谷銈太郎君 承知イタシマシタ、只今ノ二條ニ付テノ何デアリマスガ、私ハ矢張り艦ノ字ヲ、此特別ノ案デハ艦ノ字ハナクシテドウカト思ヒマスガ、唯一條ト同ジヤウニ揃ヘルヤウニシタラドウカト云フ、サウ云フコトヲ希望スル者デゴザイマスガ、花井君如何デゴザイマスカ

●花井卓藏君 私モソレデ異存ハナイノデスカ、異議ナイニシテモ有リ得ル場合ヲ想像スル、有リ得ヌ場合ヲ想像スル、何方カ揃タ方ガ宜シカラウ、一條ノ場合ニハアル、二條ノ場合ニナイト云フノハドウモ宜シクナイ

●委員長(伯爵二荒芳徳君) 今ノヤウナ點ニ付テ御意見ガゴザイマシタラ述べテ戴キ

タイ

●政府委員(泉二新熊君) 其點ニ付キマシテハ、二條ノ艦船ヲ船舶ト云フ風ニシテ、一條ト揃ヘヤウト云フ御考ガ御多數デゴザイマスレバ、是ニ對スル政府委員トシテハ反對ハアリマセヌ

●大津淳一郎君 政府委員ノ今ノ答デ政府ノ御意思ハ分リマスガ、サウシマスレバ此法律ハ軍艦ハ認メナイ、船舶軍艦ニハ……第一條ニハ左様ナモノハナイモノトシテノ趣旨ダト云フコトニナルノデスカ、矢張り船舶トシテ置イデモ軍艦マデモ入ルト云フ總稱ノ御解釋デ、差支ナイト云フ御意見デゴザイマスカ

●政府委員(泉二新熊君) 御質問ノ前段ノ趣意デ宜カラウト思フノデアリマス、第一條ノ正當防衛カラ申シマスト先刻來中上デテ居リマス通りニ、之ニ這入ッテ居ナクテモ現行刑法ノ三十六條ニ依ル正當防衛ガ立派ニ出來ルノデアリマシテ、是ハ唯斯ウ云フ場合ニハモウ疑ナク正當防衛ニナルゾト云フ解釋ヲシテアルニ過ギナイノデアリマスガ、此中ニ這入ラナイカラト云ッテ正當防衛ガ出來ナイト云フコトニハナラヌト云フコトガ一ツ、モウ一ツハ又軍艦デコンナヤウナコトヲ心配シテ置ク必要ハナイデヤナイカ第

一條デハ……、其爲ニ一條ニ態、軍艦ヲ入
レナカタノデアリマス、第二條ノ方ニ付テ
考ヘマスト云フト、是ハ稀ニハ軍艦ノ中ニ
忍ビ込デ行ッテ泥棒ヲスルト云フ、アルニ
ハ違ヒナイ、アリ得ルコトデアルト思ヒマ
スケレドモ、サウ云フ場合デアリマスと云
フト實ハ此第二條ニ入ッテカラ申上ゲル方
ガ宜イカモ知レマセヌスケレドモ、此第
二條ノ規定ガナクテモ裁判所トシテ矢張大
體此趣旨ニ從ッテ重ク處罰スルト云フコト
ハ、現行刑法ノ儘デモ一向差支ナイノデア
リマスカラ、是ヘ殊更ニ入レテ置クト云フ
コトハ左程ノ必要ハナイ、斯ウ云フ意味ニ
於テ軍艦ハ二條カラ御取リニナルコトニハ
強イテ反對イタシマセヌノデアリマス

●大津淳一郎君 サウシマス軍艦ト云フ
モノハ此方デナクテモ外ニ處罰ノモノガア
ルカラ、是ハ軍艦ヲ、此中ニハ艦ノ字ヲ除
イテ、此法案ニハ軍艦ハ認メナクテモ宜シ
イ、斯ウ云フ意味ニナルノデスカ

●政府委員(泉ニ新熊君) 其通りデ宜シウ
ゴザイマス

●花井卓藏君 此今ノ汽車ノコトデスガ、入
レテ餘リ混雜ノ來サヌヤウデアリマスシ、
餘リ面倒ガナイヤウニ思ヒマス、即チ汽車
ト云フ文字ガ這入ルダラウト思フノデアリ

マスガ、立法例ハ參考資料ノ十一頁紐育州刑
法第千二百九十四條第二號「二十五弗以上
ノ價額ノ物ヲ夜間住宅船舶又ハ鐵道列車中
ヨリ奪取スル」云々ト云フノガアリマス、
ソレカラ同ジク參考資料ノ十四頁紐育州刑
法第千二百二十四條第三號「自動車又ハ自
動自轉車ヲ使用シ」云々ト云フヤウナモノ
ガアルヤウデス、私ハ自動車ニマデハ進メ
ル考ハアリマセヌガ、汽車ニハ船舶ヨリ寧ロ
多ク其實例ガアリマスカラ、手數デナケラ
ネバ入レラレタ方ガドンナモノカト思フ、
御懇談スルノデスカ……

●政府委員(泉ニ新熊君) 其紐育州刑法ノ
規定ハ第二條ニ對シテナラバ置クトモ宜
シイト思フノデスガ、ソコデ、第一條ト第二
條ト趣意ガ違フカラ必ズシモ第一條ト第二
條トソククリ文字ガ合ハナクモ宜シイト
云フコトデ二條ニダケ入レルト云フ御考ナ
ラバ宜シイト思フ

●花井卓藏君 ソレハ後ニ御懇談イタシマ
ス、如何ニ暫定的ノ法律ト言ヒナガラ當面
ノ急ニ應ズル大切ナコトヲ定メル法律デ
アッテ、實例ノ上ニ於テアルモノヲ無視スル
ト云フコトハ宜クアルマイト思フ、私ノ考
ヘナデス、何レ字句ヤ位置ハ御同意ナラ
バ後ニ皆サント一緒ニ懇談的ニ極メテ行ッ

タラ宜カラウト考ヘテ居リマス

●政府委員(泉ニ新熊君) ソレハ二條ニ付
デデスネ

●花井卓藏君 サウデス

●政府委員(泉ニ新熊君) 二條ニ付テナラ
バソレデ宜カラウト思ヒマス

●山岡萬之助君 私ハ本案ニ付キマシテ政
府御提出ノ趣旨ヲ伺ヒ、時世ニ鑑ミテ斯様
ナル法律ヲ以テ盜犯ニ臨ム必要ガ生ジタト
云フコトハ誠ニ遺憾ニ思フノデアリマス
ガ、併シ事態斯ノ如クアル以上ハ之ヲ成立
セシメナケレバナラス、斯ウ云ッテ根本ニ於
テハ政府ノ考ト同感デアアルノデアリマス、
而シテ立法ハナカ／＼重大ナル關係ガアル
ト私ハ考ヘマス、デ段々皆サンノ御質問、
政府ノ御答ニ於テ相當程度マデハ了解イタ
シマシタガ、尙ホ私ハ二三ノ點ヲ指摘シテ
御説明ヲ願ヒタイト考ヘルノデアリマス、
第一ニ此本案ヲ成立セシメタ、即チ立法シ
タ結果ガドンナモノデアアルカ、本案ノ成立
シタル影響ヲ伺ヒタイト思フノデアリマス、
刑法ハ私申上ゲル迄モナク強キ力ヲ持ッタ
社會秩序維持ノ法律デアリマスカラ、其影
響スル所ハ實ニ甚大デアアルノデアリマス、
デ舊刑法ガ極ク溫和主義、博愛主義ニ依ッテ
出來タ刑法デ、現行法ハ何ト云ッテモ防遏ヲ

中心ニ置イタ刑法デアリマス、是故ニ舊刑
法ガ實施サレルト云フト處罰ト云フモノハ
殆下半減サレテシマッテ居ル、其次ガ現行刑
法ガ實施サレルト云フト寧ロ犯罪ハ甚ダ面
白クナイ事象ヲ起シテ來タノデアリマス、
例ヘバ鳥ヲ盜シデ行ク、之ヲ前科ガアルナ
ラバ十年ニ處罰スルト云フ、斯ウ云フ風ナ
コトデ、爲ニ犯罪人ト云フモノガ何トナク
險惡性ヲ持ッテ來タ、斯ウ云フ風ニ刑法ノ立
法ト云フコトハ社會ニ及ボス影響ガ實ニ烈
シイノデアリマス、ソコデ私ハ考ヘルノデ
アリマス、刑法ノ立法ハ矢張り人間ト云フ
意味ヲ十分ニ加味シタモノデナケレバナラ
ヌ、此意味ニ於テ言葉ハ少シ變デアリマス
ガ、私ハ惡人道德、罪人道德ト云フモノヲ
之ニ依ッテ示シテ、彼等ノ犯罪スル場合ニ於
テモ人間トシテ動クト、斯ウ云フコトヲ其
法制ノ範圍ニ存シテ置カナケレバナラスノ
デアアル、斯様ニ考ヘテ居リマス、其趣旨カ
ラ此立法ヲシテ竊盜、強盜犯人ニ向ヒマス
ト云フト、例ヘバ家宅ニ侵入シテ、ドウ云フ
目的デ這入ッテ來ルニシテモ、其處等ヘ這入
レバ打殺サレテシマウ、斯ウ云フコトニナル
トナカ／＼容易ナラヌコトデアリマスカラ、
其犯人ハ覺悟ヲ可ナリスルダラウト思フ、
スルト被害者加害者共ニ大變ニ氣分ガ高調

シタ所ニ於テ相向フヤウナコトニナルノデ
アリマスカラ、害ノ生ズル所ハ可ナリ考ヘ
ニヤナラヌモノガアルカト私ハ思ヒマス、
ダカラ刑事立法ニ依ッテ罪人ノ動キ方ヲ一
方デ仕向ケテ、所謂窮鼠猫ヲ囓ムト云フヤ
ウナ形ヲ拵ヘルト云フコトハ、是ハマア餘
程考ヘニヤナラヌ、ソコデ一面ニ於テ刑罰
ヲ重クシテ、斯ウ云フ行動ヲ取ッテハナラナ
イ、此コトヲスルト詰ラナイト、斯ウ云フ
コトヲ罪人階級ニ於テ知リマスルト云フト
ソレニ向ハナイノデアリマス、デアリマス
カラシテ兇器ヲ携帯シテ侵入スレバ刑ヲ重
クスル、ダカラ兇器ヲ外ニ置イテ寧ロ這入ッ
テ來ル、窃盜犯人ナドハ是ハマア舊刑法時
代ノ現象ニナッテ居ル、兇器ヲ持ッテ這入ッ
テ來ルト非常ニ重イ刑ヲ科セラレマスカラ、
兇器ヲ外ニ置イテ這入ッテ來ル、新刑法ニナ
ルト兇器ヲ持ッテ居ラウガ居ルマイガ、チ
トモ區別ガナイ、前科ガアリサヘスレバ新
刑法ハ十年ニ處罰スル、是デハ何ニモナ
ラナイト云フノデ、皆兇器ヲ持ッテ這入ッ
テ來ル、爲ニ新刑法實施ノ際ニ於テハナカナ
カ危険ナ狀況ガアッタ、ソコデ其後ニ刑法ノ
適用關係ガ變ッテ參リマシタ、ドウモ烏ヲ盜
ンダリ屋外デ茄子ヲ盜ンダリシタ者ニ前科
ガアルカト云フテ、五年十年ノ處罰ヲス

ルト云フコトハ適當デナイ、斯ウ云フ所カ
ラシテ、矢張り元ヘ戻ッテ一年二年三年ト云
フヤウナ輕イ處罰デ、今日デハ殆ド刑ノ適
用ト云フモノハ現行刑法ノ立前カラ行クニ
非ズシテ舊刑法時代ニ……大體固ヨリ舊刑
法ハ非常ニ刑ノ幅ガ狭イモノデアリマスカ
ラ、皆其通リトハ申シマセヌガ、併ナガラ
非常ニ緩大ナモノデアリマシタノデアリマ
ス、サウ云フ譯ニナルノデアリマスカ
ラ、舊刑法ノ時代ニ於テハ持兇器強盜ト云
フモノハ成ルベク避ケヤウトシタ、現行法
ヲ實施スルヤウニナッテカラ、兇器ヲ携帯シ
テ歩イタ方ガ宜イ、斯ウ云フコトニナッテ、ソレ
デ之ヲ實施シタ時ニ於テ人ノ家宅ニ這入ルト
殺傷サレル、殺傷サレテハ詰ラヌカラ之ニ立
向フダケノ方法ヲ講ジナケレバナラヌ、斯ウ
ナッタ時ハ我々ノ生活上ニ於ケル兩者ノ關係ハ
ドウデアラウカト云フコトハ、餘程考ヘナ
ケレバナラヌ點デアラウト思ヒマス、サウ
云フ次第デ、此點ニ於ケル影響ヲ政府ニ於
テ十分ナル御考ノアル所ヲ、ドウデアルカ
ト云フコトヲ承リタイ、ソレガ先ヅ第一點
トシテ、其點ヲ詳細ニ御説明願ヒタイ

●國務大臣(子爵渡邊千冬君) 私カラ山岡

君ノ御質問ニ對シテ大體ノ御説明ヲ致シタ
イト思ヒマス、舊刑法ト新刑法ノ比較トカ
云フヤウナ、ソレ等ノコトハ若シ御希望ガア
レバ政府委員カラ御説明ヲ致シタイト思ヒ
マス、山岡君ノ御心配ハ之ヲ約メテ言ヘバ、
斯ノ如キ法律ヲ制定スレバ侵害者ノ兇暴性
ヲ増ス處レガアリハシナイカ、斯ウ云フコ
トニ歸著スルダラウト思ヒマス、一應サウ
云フ御心配モ起リ得ルコトダトハ我々豫期
シテ、十分其點モ考慮イタシタノデアリマ
ス、先ヅ其問題ヲ考ヘル前ニ我々第一ニ
考ヘナケレバナラヌコトハ、ドウ云フコト
デアアルカト云ヘバ、今日ノ狀態ハ満足ノ出
來ル狀態デアアルカドウカ、兇器ヲ持ッテ人ノ
家ニ這入ッテ、單リ物ヲ取ルノミナラズ、人
ノ貞操ニ對シテ侮辱ヲ加ヘルト共ニ、危害
ヲ加ヘルト云フヤウナコトガ行ハレテ居
ル、今日、法ヲ重クスレバ兇暴性ヲ増スカ
ラ法ヲ重クセズニ、放ッテ、其儘ニ任セテ
置クカ、是ハドウシテモ出來ナイコトダト
思ヒマス、ドウカシテ今日ノ狀態ヲ善クシ
テケレバナラヌ、是ガ斯ウ云フ法律ヲ制定
スル必要ヲ何人モ感ジタコトデアルト思ヒ
マス、若シ山岡君ノ御説ヲ其儘推シ詰メテ
行ケバ、此法律ヲ作ラズニ現在ノ儘ニシテ
置イタ方ガ宜クハナイカト云フコトニナル
ト思ヒマスガ、サウスレバ現在ノ狀態デ、
泥棒ガ這入ッテ二時間デモ三時間デモ一番

ノ電車ガ動キ出ス迄モ婦人ノ部屋ニ泥棒ガ
這入ッテ、ダットシテ何ヲシテ居ルカ分ラヌト
云フ、サウ云フ狀態ニ、今日迄ノサウ云フ
狀態ノ儘放任シテ置クコトガ出來ナイト云
フノガ、此法律ヲ制定シヤウト云フ第一ノ
動機デアアルノデス、是ハ何人モ疑ノナイコ
トデアアル、之ヲドウ變ヘルカ、此儘ニシテ
置クコトガ出來ナイナラバ、ドウニカ變ヘ
ナケレバナラヌ、ソレデハドウ變ヘルカト
云ヘバ、ドウシテモサウ云フ人達ニ對シテ
刑罰ヲ重クスルカ、ソレデナケレバ國家ノ
公ノ力ガ働クコトノ出來ナイ所謂緊急ノ場
合、窮迫ノ場合ニ於テハ、個人ニ正當防衛
權ヲ行ハシメル外ニハ、サウ云フ危害ヲ防
グ方法ハ無イノデス、外ニ方法ガ有レバ、
サウ云フ法律ヲ作ル必要ハ無論ナイト思ヒ
マス、其點カラ此法律ハ出來タモノト御承
知ヲ願ヒタイ、昔ハ兇器ヲ持ッテ這入レバ
罪ガ重カッタカラ兇器ヲ家ノ外ニ置イテ這
入ッタガ、其後ニ法律ガ改メラレテ、兇器ヲ
持ッテ居ラウガ居ルマイガ同ジヤウニ罰セ
ラレルカラ、兇器ヲ持ッテ這入ルヤウニナ
タト云フ御話デアリマスガ、是ハ舊刑法ノ
條文ト新刑法ノ條文ト比較シテ、ドウナッ
テ居ルカ、其邊ノ所ハ能ク承知イタサナイノ
デアリマスケレドモ、今度ノ此法律ハ兇器ヲ

携帶シテ人ノ家ニ這入テ來ル者ヲ重ク罰スルノデアリマス、從テ其點カラ言ヘバ、山岡君ノ御心配ハ今度ノ法律ニ依ッテ無クナルコトデアラウト思フノデアリマス、ソレカラ山岡君ノ御話ノ、法律デ重ク罰シタバカリデモイケナイ、鶏ヲ取ッテモ畑ノ茄子ヲ一ツ取ッテモ重ク罰スルト云フヤウナコトハイケナイ、斯ウ云フ御話デアリマスケレドモ、是ハ私ノ觀察デゴザイマスガ、果シテ刑法ヲ以テサウ云フコトヲ規定スベキモノデアルカ、刑事訴訟法ヲ以テ之ヲ規定スベキモノデアルカ、惡イ事ヲシテモ構ハヌト云フヤウナコトヲ刑法ノ上ニ表ハヌト云フヤウナコトハ、ドウシテモ出來ナイノデアリマスカラ、所謂其犯人ノ情狀ニ依ッテ如何ニ犯人ヲ取扱フカト云フコトハ、是ハ山岡君ハ専門家デ御出デニナルカラ、御承知ノ通り今日ノ刑事訴訟法ニ於テハ、結果トシテハ起訴スル者ヨリモ起訴猶豫ニナル者ガ今日ハ倍以上モ多イノデアリマスカラ、微罪ヲ犯シタ者ヲ刑法ニ依ッテ重ク處斷シナケレバナラヌト云フコトモナイノデアリマス、刑法ニ依ッテ罪ヲ犯シタ者ヲ放任スルト云フヤウナ規定ヲ設ケテ、サウシテ犯人ヲ少クスルコトハ、ドウシテモ出來イナコトト私ハ思フノデアリマス、ソレカラ人ノ

家ニ這入レバ直グニ正當防衛ヲサレルカラ兇暴性ヲ帶ビハシナイカト云フコトデアリマスガ、是ハ少シ觀察ガ違ッテ居リハセヌカト思ヒマス、此法律ハ正當防衛權ヲ行ヘト命令スル法律デハナイノデアリマス、正當防衛權ヲ行ヒ得ルヤウニ、行ヒ易イヤウニスルノガ、此法律ノ精神デアリマシテ、侵入サレタ者、侵害サレタ者ガ自分ノ氣轉ニ依ッテ、此泥棒ハ下手ニ向ヘバ荒クコッチニ向ッテ來テ、愈、格闘スレバ自分ノ方ガ敵ハナイ、ヒドイ目ニ遭フト云フナラバ、必シモコッチカラ正當防衛權ヲ行ハナクテモ宜イ、ソレハ一々ノ場合ニ於テ其當事者ノ氣轉ニ任セルヨリ外ニ仕方ガナイ、今日ノ急迫不正ノ侵害ニ對シ自己又ハ他人ノ權利ヲ防衛スル爲ニ已ムヲ得ザルニ出デタル行爲ハ之ヲ罰セズト云フ規定ガアッテモ、何ガ故ニ正當防衛權ヲ行ハナイカト云フト、今日ノ法律ノ精神ヲ國民ガ理解シテ居ラナイカラ行ハナイト思ヒマス、多クノ場合コ、デヤ、泥棒ヲヤツツケテヤリタイガ、今コ、デヤ、ツケレバ是ハ自分ノ方ガ罰セラレルノデハナイカト云フヤウナ心配ヲ持ッテ居ル人ガ澤山アルダラウト思ヒマス、又判事ガ判決ヲスル場合ニモ餘リ現在ノ規定ト云フモノハ抽象的デアリマスカラ、其判決ガ必シモ

千篇一律、同ジヤウナ風ニ人ノ正當防衛權ヲ認メタ判決デアルカドウカ、私ハ其邊ニ又一ツ疑ヲ持ッテ居ルノデアリマス、ソレデアリマスカラ今日ノ法律デ認メテ居ル所ノ正當防衛權ト云フモノモ、茲ニ新シク單行法ヲ設ケテ、正當防衛權ヲ用ヒムト欲スル場合ニハ、之ヲ用ヒ易イヤウニスルト云フコトハ益ハアッテモ害ハナイ、之ニ依ッテ兇暴性ヲ増スト云フコトハナイ、犯人ガ一々此人ハ正當防衛權ヲ行ヒサウナ人デアルカラト云フヤウナ研究ヲシテ、此人ヲ殺シニ掛ラウト云ッテ這入ル者ハナイ、多クノ場合ハ強盜トカ竊盜ト云フモノハ血ニ餓エテ居ルノデハナイ、物ヲ取ラウト云フノガ第一ノ目的デアリマスカラ、今度新シク法律ガ出來テ正當防衛權ガ出來タカラ、是カラハ人ヲ殺シテ掛ラウト云フヤウナコトニ泥棒ガ考ヘルモノトハ私ハ考ヘマセヌ、泥棒ハ必シモ血ニ餓エテ居ルモノデハナイ、食ニ餓エテハ居リマスケレドモ、此法律ガ出來テ正當防衛權ガハ、キリシタカラ、人ノ家ニ侵入スル者ガ果シテ兇暴性ヲ持ッテ這入ルト云フコトハ、ドウシテモ想像ガ出來ナイ、又這入ラレル方モ只今申シマシタ通り、一々正當防衛權ヲ用ヒナケレバナラヌト云フコトヲ法律ハ命ズルノデハナイ、其人ノ氣轉

ニ任セルノデアリマスカラ、此法律ガ出來タカラト云ウテ、夜間兇器ヲ持ッテ人ノ家ニ侵入シタト云フ者ヲ必ズシモ「ビストル」デ打ツト云フコトハナイト思ヒマス、ソレデアリマスカラ山岡君ノ御心配ノヤウナコトハ無イト私ハ考ヘテ居リマス

●山岡萬之助君 只今ノ御説明ヲ承ハリマスト云フト、提案ノ理由ノ方面ヲ色々強ク御説明ニナッタノデスガ、私ノ御尋ネ致スノハ提案ノ理由デハナイ、提案ノ理由中ニ論ゼラレルサウ云フコトモ御研究ニナツタカ、ナツタトスレバドウ云ツタ風ニ私ノ心配スルヤウナコトハ凡ソ結末ガ付イタト云フコトヲ單純ニ承ハレバ宜シイノデアリマス、ドウモ刑ノ問題ニ付テ、刑事訴訟法ニ刑ノ問題ヲ書ク譯ニ行カヌコトハ論ズル迄モナイ、サウ云フ刑事訴訟法ニ刑ノ輕重ト云フモノヲ書クナント云フコトハ出來ナイ、刑ノ輕重ノコトハ刑法ニ於テ書クヨリホカ仕方ガナイ、前科ガアレバソレニ向ッテ五年十年ニ罰シタノガ其當時ノ狀況デ、其結果ガ面白クナカッタ、斯ウ云フコトデ此現行刑法ニ於テハ一年以上ト云フモノデ罰セラレマスカラ幾ラデモ……十年以下デ罰セラレル、判檢事ノ自由裁量、檢事ノ主張ニ依ッテ適當ニ取扱ヘバ宜イト、斯ウ云フコトヲ

申シタノデアリマス、而シテ此法律ハ防衛權ヲ行使シ得ルト云フコトヲ言フノデ、何モ行ハナケレバナラヌト云フコトヲ言フノデハナイト云フ仰セデアリマスガ、ソレハ固ヨリ當然ナコトデアリマス、權利ハ行使スベキモノデ、行使シナケレバナラヌ義務ノアル筈ハゴザイマセヌ、唯此一條ニ於テ斯ウ云フヤウニ書キマスと云フト、此法律ヲ成立シテ公布イタシマスと云フト、現行刑法三十六條第一項ヨリモ、否三十六條全體、ソレヨリモ、斯ウ云フ場合ニハ殺傷シテ宜イノダ、斯ウ云フコトガ具體化サレテ、何カ急ニ其立法ヲ以テ防衛權ヲ擴大シタト云フコトヲ必ズ世間ガ感ズルト思フ、若シ擴大ナサヌト云フナラバ、コンナ立法ヲナサル必要モナイ、現行刑法デ解釋出來ルト云フコトナラバ、立法ノ必要モナイノデ、立法ノ必要ト云フコトハ、ソレヲ具體化シテ容易ク、サウ云フコトハ無罪ニナル、斯ウ云フコトニナルノデアリマスカラ、私ハ判例ガ進メバ、ソレデ出來ルト云フコトニ政府ノ仰セナラナルノデアリマス、御説明ノ中ニ三十六條ノ防衛權ヲ少シモ變ヘタモノデハナイ、ソレヲ具體化シタ譯デアッテ、擴張ニ非ズシテ原則ノ普遍デアルト云フ御説明デアリマスカラ、全く無用ナ案デ

アリマス、今段、御話ノヤウデアルト、寧ロ第一條ハ無用デアリマス、サウニ非ズシテ之ヲ出シタ以上ハ、ドウ見タ所デ具體化シ擴大サレタト云フコトニ何人モ感ズベク、又サウナケレバナラヌ、サウナケレバ必要ガナイ、殊ニ第一條第二項ノ如キハ現行刑法ニモナイト云フコトハ泉ニ政府委員モ御説明ニナッテ居ル、是ハドウシテモ擴大デアル、サウ云フ意味デ私ノ間ハムトスル所ハ、今迄ノ刑法ニ其心配ヲ何故ナサナカッタカ、如何ナルコトデサウ云フコトニナッタカト云フコトヲ私ハ承ハリタイト思フノデアリマス、尙ホ斯ウ云フコトニ依ッテ個人防衛ニシナケレバナラヌノダト云フ仰セデアリマスルガ、實ハソナコトハ今一ツ進メテ行ケバ、警察權ガ微弱デアルカライカヌノデアリマス、此警察權ガ擴大サレマシテ、今日ノ如ク交通ガ便利ニナリ、通話ガ便利ニナッタ以上ハデス、精神的、物質的ニ交通ガ便利ニナッタ以上ハデス、被害ガアッタラ直ク警察カラ來ラレルヤウニシタラ私ハ宜イト思フ、ドウモ五時間モ八時間モ人ノ家ヘ這入ッテ居ルノヲ、警察ノ方ガ來ラレヌナント云フコトハ、今日ノ此文化ノ時代ニ於テハ洵ニ秩序維持ノ上ニ薄弱ナ事柄デアルト言ハナケレバナライ、是

ハ警察ヲドウシテモ改善シナケレバナラヌト思フノデアリマス、デアリマスカラ此委員會ニ於テハ警察當局ノ御出席ヲ得テ、ドウ云フ風ナコトニ考ヘラレテ居ルカ、今日迄ハドウシテ居ルノカト云フコトヲ是非御尋ラシナケレバナラヌト私ハ思フ、私ノ考フル所ヲ以テスレバ、警察ニ「ベル」ヲ以テ直チニ知ラセルト、警察カラハ自動車ヲ以テ火事ノ起キタ時ノヤウニ走レバ何デモナイ話、今日火事ニハ三分力五分デ蒸汽唧筒ガ來ルノデアリマス、強盜ノ時ニ何故來ラレナイ、サウ云フ筈ハアリマセヌ、國家ガ之ニ對シテ相當ノ經費ヲ拂ヘバ必ズ出來ルコトデアリマス、殊ニ此頃ハ世ノ中ガ洵ニ大衆ノ運動ニナリマシテ、危險ナ事ガ澤山アルノデアリマス、私ハ現ニ局ニ居タ時代ニモ、是非ソノ……例ヘバ交番所ヘ「ベル」ヲ以テ知ラセレバ、其處ヘ蒸汽唧筒ノ如ク早ク警察隊ガ來ルト、斯ウ云フコトニナレバ……多數共同シテ暴行行爲ヲスル、アノ團體暴行ノ防止法案ヲ成立シタ時代、全ク世ノ中ハモウ團體的暴力ガ行ハレテ危險デアリ、ソレニ對スル對策ト云フモノハ警察ニハ一ツモナイ、警察ハ一ツモ進歩シテ居ラヌノデアリマス、是故ニ今日ノ如ク進歩シタル所ノ此社會秩序ノ攪亂ヲ防グ

方面ニ向ッテモ警察ハ一歩モ進ンデ居ラヌト申シテモ宜イノデアリマス、ソレデ當時私モ考ヘナイコトモナカッタノデスケレドモ、色色ノ事情ニ依ッテ何等具體化スル迄ニ運ンデ居リマセヌ、是ハマア是非トモサウ云フ方面カラ見テ行カナケレバナラヌト私ハ思ヒマス、ソレカラ私ノ主トシテ申上ゲタコトハ一條ヲ根柢トシタ方デアリマシテ、二條三條ニナレバ刑ヲ重クシテ、此道ヘ來ルナ、二人以上ニ於テ爲スコトハイケナイ、兇器ヲ携帯スルコトハイカヌゾ、門戶牆壁等ヲ踰越損壞スルコトハイケナイト、斯ウ云フ風ニ書イテアリマスと、犯人ノ方デ外ノ方法ヲ選ブ、重ク罰セラレ、バ嫌ダカラ輕ク罰セラレル……、是ハ人情ダ、ダカラ人情ヲ含ンダ刑法ヲ作ルコトガ私ハ必要ダト申上ゲタノデアリマス、成タケ我ノ人生ノ生活上、困ル方ヘハ犯人ガ向イテ來ナイヤウニシテ……ドウモ是ハ竊盜犯人ガ世ノ中カラ無クナルト云フコトハアリマセヌ、竊盜犯人ハ必ズ在ルノデスカラ、ソレヲ全體ノ社會政策カラ見テ、ドッチモ何ニモ害ニナラヌヤウニシテ貫ヒタイト云フコトヲ私ハ希望スル點カラ、其根柢カラ出テ段々ノ御間ヲ致シタ譯デアリマス、尙ホソレカラ不安ノ情況ト云フモノハ、説教強盜ノ點アタリカ

ラ御話ガアリマシタガ、統計ノ點ハ強盜ハ
ドノ位今日殖エテ居ルカ、ソレ等ノ點モ御
説明ヲ願ヒ、尙ホ私ノ先ニ申上ゲマシタ舊
刑法時代、新刑法時代、其他ノ點ニ付テ更
ニ御説明ヲ請ヒタイノデアリマス

●國務大臣(子爵渡邊千冬君) 大體ノ點ハ

私カラ御答ヲ致シマス、山岡君ハ此第一條
ハ無用ダト云フ御説デアリマスケレドモ、
是ハ先刻私ノ申上ゲマシタ通り、ソレナラ
何ニモセズニ現在ノ儘ニ放擲シテ置クカド
ウカ、斯ウ云フ問題ニ結局歸著スルノデア
リマス、ソレハ政府ト致シマシテハ現在
ノ儘ニ放擲シテ置カナイ方ガ宜イト云フ考
デ、斯ウ云フ規定ヲ設ケタノデアリマシテ、
是ハ御意見ノ相違ト云フヨリ外ハ仕様ガナ
イ、ソレカラ第一條ハ正當防衛權ノ擴張デ
アルト云フ御議論デアリマスケレドモ、政
府ノ考デハ理論的ニハ擴張シテ居ラナイ積
リデス、唯、今迄ノハ抽象的デアリマシタ
爲ニ、此法律ノ與ヘタ所ノ正當防衛權ト云
フモノヲ行使スル上ニ於テ不便ガアル、從
テ行使シナイ、シタクテモ行使シナイ人、
場合ガ折ミアルカラ、之ヲ明白ニシヤウト
云フ意味デ、此第一條ノ規定ヲ設ケタノデ
アリマス、恐怖、驚愕、興奮、狼狽ニ因リ
人ヲ殺傷シタ場合ノ罪ハ罰セス、是ハ擴張

デナイカト云フ御話デアリマスケレドモ、

是ハ先刻政府委員カラ説明イタシマシタ
時、責任能力ト云フ問題カラ行ケバ、恐怖
ニ因リ、驚愕ニ因リ、興奮ニ因リ、狼狽ニ
因リ、人ヲ殺傷シタ場合ニ其責任ノ無イト
云フコトハ、今日ノ刑法ニ於テモ認メテ居
ル所デアリマシテ、是モ別段擴張デハナイ
ト思フノデアリマス、是ハ御意見ノ相違ト
云フヨリホカ申上ゲヤウガナイト思ヒマ
ス、ソレカラ警察ヲ改善シタナラバ、コン
ナ法律ヲ作ラナクテモ宜イデヤナイカ、電
話ヲカケレバ火事ノ時ノヤウニ直グ警官ガ
自動車ニ乗ッテ行ケバ宜イデヤナイカ、斯ウ
云フヤウナ御話デアリマスケレドモ、第一
此正當防衛權ト云フモノハ、公權ノ及バナ
イ規定デアルト云フコトハ、是ハ申上ゲル
迄モナイコトデ、如何ニ警察ヲ改善シマシ
テモ、警察權ノ及バナイ場合ガアル、其場
合ニ適用サレルノガ正當防衛權ノ規定デア
ルト思ヒマス、何人モ警察ノ力ヲ借りルコ
トガ出來ル場合ニ好ンデ人ヲ殺傷スルモノ
デハナイト思フ、又實際ノ實例カラ申シマ
シテモ、山岡君ハ能ク御承知デアリマセウ
ガ、説教強盜デアルトカ講談強盜ハ電話線
ヲ先ヅ切ッテ人ノ家ヘ這入ル、火事ノ場合ニ
電話ヲカケレバ直グ蒸氣唧筒ガ飛ンデ來ル

ヤウニ警察カラ自動車デ警官ガ飛ンデ來レ

バ宜イデヤナイカト云フコトデアリマス、
理論ハ其ノ通りデアリマスガ、實際ニ於テ
サウ云フコトガ行ハレナイカラ、即チ法權
ト云フモノハ如何ナル場合ニモ……常ニ其
處ニ出テ來テ人民ニ救済ヲ與ヘルコトガ出
來ナイ場合ニ正當防衛權ト云フモノヲ行使
スル必要ガアル、ソレ故ニ此規定ガアル、
左様ニ御承知ヲ願ヒタイト思ヒマス、ソレ
カラ強盜ノ統計ノコトデスガ、此差上ゲマ
シタ參考資料ノ終ヒノ方ニ昭和三年迄ハ書
イデアリマス、ソレヲ御覽下サルト大概分
ルダラウト思ヒマス

●委員長(伯爵二荒芳徳君) 別ニ御質疑ハ

アリマセスカ

●山岡萬之助君 マダ私ハ政府ノ御答ガア

ルト思ヒマスガ、其程度ナラバ尙ホ私カラ
御尋ネ致シタイト思ヒマス、私ハ此法律ノ
一條ヲ無用ダト云フコトヲ唯申シタノデハ
ナイノデアリマス、詰リ政府ノ言ハレルヤ
ウナ意味デ少シモ擴張シタモノデハナイト
云フノデアラナラバ、無クテモ宜イコトニ
ナルノデハナイカ、詰リ擴張シタコトニナ
ルノデアラカラ、其私ノ申上ゲタヤウナ點
ニ付テ效力ガナケレバナラスト云フ問題ガ
出ルノデアリマス、若シ現行法通りデア

ト云フナラバ最早私ノ申スヤウナコトハ初

メカラ考ヘル必要ガ無イノデアリマス、詰
リ第一條ガ兎モ角モ現行刑法ヨリモ適用ニ
於テ擴大サレテ居ルト云フコトガアルカ
ラ、サウ云フコトヲ考ヘネバナラストデア
リマス、擴大サレテ居ナイナラバ其處ニ論
議スル必要ガ無イノデアリマス、私ハ擴大
サレテ居ル、斯ウ云フコトヲ考ヘル、而シ
テ此立法ガ成立シテ世ニ公ニサレマスルト
云フト、此防衛權ト云フモノガ今度ハ恐シ
ク廣クナッテ來タゾ、斯ウ云フコトヲ感ズル
コトハ、私ハ當然デアラウト思フ、ソレデ
アルカラシテ其意味ニ於テ、今日ノ時勢ニ
照シテ一面ニ防衛權ヲ行使シナケリヤナラ
スト云フコトニ付デス、必要ナリヤ否ヤ
ト云フコトハ、私ソレハ最初ニ申上ゲテア
ル、其點ニ付テハ政府提出ノ御意見ト私ハ
同等ナルコトヲ考ヘテ居ル、然レドモ此問
題ハ重大デアラカラ内面ニ存スル所ノ此法
律制定ノ結果、却テ細民階級ニ面白クナイ
氣分ガ出テ來ハセヌカ、斯ウ云フ所ニ質問
ヲ致シタ譯デアリマス、唯單純ニ無條件ニ
第一條ノ如キハ要ラヌモノダト云フコトハ
決シテ申シテ居ラヌノデアリマス、私ノ質
問イタス所ヲ、ドウゾ唯單純ニ結論ダケ取ッ
テ御答ノナイヤウニ、特ニ御願ヒ致シタイ

ト思ヒマス、サウデナイト結局無益ニ皆様ノ大切ナル時間ヲ潰スコトニナリマスカラ其點ハ御承知ヲ願ヒマス、結局、第一條ハ、私ハ繰返シテ申上ゲマス、現行刑法通りデアルト云フナラバ削ラレテ一向差支ヘナイ、現行刑法ヨリモ擴大サレルノデアルカラ是ガ無ケレバナラスト言フノデアリマス、ソコダケハ一ツハッキリシテ置ク必要ガアルト思ヒマス

●國務大臣(子爵渡邊千冬君) 只今山岡君

ノ重ネテ御質問デアリマスガ、其意味ヲ以テ私ハ御答ヲ致シタ積リデアリマス、私ハ第一條ハデス、理論的ニハ正當防衛權ト云フモノハ擴大サレテ居ラナイケレドモ、其適用ハデス、今日ヨリ多キヲ欲スルガ故ニ此様ナ規定ヲ設ケタノデアル、斯ウ云フコトヲ申シマシタ、山岡君ハ其適用ガ多イノナラバ擴張デハナイカ、斯ウ云フ御話デアリマスケレドモ、適用モ多クナク理論モ同ジナラバ、ソレコソ此法律案ヲ提出スル必要ハナイノデスケレドモ、適用ヲ多クセシムルガ爲ニ之ヲ出シタノデアリマスカラ、其點ニ於テハ山岡君ノ御想像ノ通りデス、理論的ニ正當防衛權ノ擴大デハアリマセヌケレドモ、適用ヲスル場合ハ多キコトヲ期待シテ居ル、サウシテ今日迄ニアッタヤ

ウナ貞操トカ生命トカ云フヤウナコトニ自ラ防衛スル手段ヲ與ヘヤウ、是ガ政府ノ提案ノ理由デアリマスカラ、決シテ私ハ山岡君ノ一條ヲ無用ナリト云フノハ、理窟ナシニ第一條ノ無用論ヲ唱ヘラレタト云フコトヲ申スノデハアリマセヌガ、只今ノコトヲ先キカラ繰返シ繰返シ申上ゲタノデアリマス、左様御承知ヲ願ヒマス

●山岡萬之助君 私ハ更ニ申シテ置キタイ

ノデスガ、政府ガ十分ナ研究ヲナスッテ、貴族院ニ於テ問題ニナッテ、此法案ガ出來テ居ルト云フコトヲ承ハッテ居ルノデアリマス、デアリマスルカラ政府ガ御提案ニナッテ居ルノヲ直チニ無條件ニ無用ノモノデアアルナゾト云フコトハ毛頭考ヘテ居リマセヌ、私ハ政府提案ノ、斯ノ如キ重大ナル法律案ハ、是ハ案トシテ十分ナ重キヲ置イテ考ヘテ居ラナケレバナラスト思フ、唯其結末ニ到達スル間ニ於テハ、色ミナ關係ニ於テ承ハリモシ、ソシテハッキリシテ置クト云フコトガ、此法律ノ將來ノ適用ノ上ニ於テ、將來ノ影響ノ上ニ於テ、最モ適當ナリト考ヘマスルガ故ニ申上ゲル次第デアリマスカラ、能ク私ノ申上ゲテ居ル根柢ヲ左様ニ能ク御承知ヲ願ッテ置キマス、續イテ御尋ネヲ致シマスガ、此現行刑法ハ舊刑法トハ違ヒ

マシテ、極ク大マカニ書キ表ハシテ居ルノデアリマス、ソレデアリマスルカラ此案ノ第二條ニアリマスルヤウナコトハ相當程度迄ハ舊刑法ニアッタノデアリマスケレドモ、現行刑法デハ全部之ヲ削ッテシマッタ、ソレハ詰リ煩鎖ナ規定ヲ置キマスルト云フト、適用ノ場合ニ於テ、具體的ニ各場合ニ適合スルヤウニ行カナイノデアルカラ、裁判官ガ能ク事實及情狀ヲ調べテ之ニ適應スルヤウニ裁判ヲサセル、裁判ニ於テ實際ニ行カネバナラスト云フ意味ニ現行刑法ハ出來テ居ル次第デアリマス、是モ亦刑法トシテ私ハ味ヒガアルト思フ、法律ガ左様ニ幅ガ廣クアリマスルト云フコトハ、司法官ノ研究ニ依ッテ、時代ノ進運ニ依ッテ、最モ良キ裁判ガ出來ルト思フ、細カイ規定ヲ書クト云フト、裁判官ノ權能ハ縮ミ、抽象的ニハ或準則ガ出來テ來マスケレドモ、具體的ニハ誠ニ困難ニナル、サウ云フ次第ニ、現行刑法ハ兎モ角モ其立前カラ出來テ居ルノデアリマスルガ、今度ノハ詰リ今日迄ノ形カラ行ケバ其刑法ノ立前トハ反對ノ面ニナッテ居ルノデアリマス、今現ニ刑法ガ審議中デアルト云フ先程司法大臣ノ御話デアリマスガ、其方面ノ立法ニ付テハ今此ノ處デ何フト云フ譯デハアリマセヌ、又必要モナイ

ノデアリマス、サウ云フ風ナ傾向ヲ更ニ今度ハモウ一步具體的ニ指示シテ行クヤウナ御考ガアルノデアリマスカ、ドウデアリマスカ、一言承ハッテ置キタイ

●政府委員(泉二新龍君) 只今ノ御質問ニ

對シマシテハ私カラ御答ヲ致シテ置キマス、此現行法ミタヤウニ刑ノ範圍ヲ廣クシマシテ、窃盜ニ付テハ一年以上十年以下、強盜ニ付テハ五年以上十五年乃至二十年ト、斯ウ云フヤウナコトニ致シマシテ、刑ノ量定ハ裁判官ノ自由裁量ニ任セテ置クト云フコトハ非常ニ彈力性ノアル法律デアリマシテ、理論トシテハ大變宜シイノデアリマスケレドモ、實際ノ適用カラ申シマスト云フト、一利一害ハ免レナイノデアリマシテ、大分經過カラ考ヘテ見マスト、不便ト云フベキ現象ガアルノデアリマス、實際ノ狀況ニ付キマシテハ御手許ニ差上ゲテ置キマシタ表ノ一番終ヒノ八號ヲ御覽ヲ願ヒタイノデアリマス、是ハ此方ニ書イテアリマスルヤウニ昭和四年ノ十一月十八日巢鴨刑務所ニ於ケル其八號ヲ御覽ニナリマスト、強竊盜犯一千七百三十八人、其中デ前ニ刑務所カラシテ釋放サレテ後四ヶ月以内ニ入監セル者ガ九百三十七人デアリマシテ、是ハ釋放者ノ五割四分ヲ占メテ居ルト云フヤ

ウナ狀況デアリマシテ、兎ニ角出レバ三四ケ月ノ中ニハ大半ガ舞戻テ居ル、斯ウ云フ狀況デアリスマカラ、ドウシテモ刑期ガ實際ニ於テ短カ過ギル、今日ノ狀況カラサウ云フ感ヲ私ハ有テ居ルノデアリマス、ソレカラ第七號ヲ御覽ニナリマス、是ハ全國ノモノデアリマスガ、全國ノ統計デアリマスガ、此昭和四年十一月現在ニ於テ受刑者ノ總數ガ三万六千五百數十人デアリマスガ、

所ガ此法案ニ該當スル強竊盜、詰リ常習犯トカ色ミサウ云フ手段ヲ用ヒタ特別ナルモノガ其中ニ一万二千約五百人ト云フコトニナッテ居リマス、所ガサウ云フ特別ノ手段ヲ用ヒル強盜ニ對シマシテモ其點ハ此方ニ書イテアリマセマス、最短期ハ一年、ソレカラ竊盜ノ最短期ハ三ケ月、サウ云フ狀況デハ到底社會ノ秩序ヲ今日ノヤウナ狀況ニ於テハ維持シ難イ、無論刑ヲ重クシタカラト云ッテ強竊盜ガ無クナルト云フ譯ノモノデナイコトハ申上ゲル迄モナイコトデアリマスケレドモ、斯ウ云フ風ニ特別ノ手段方法ヲ用ヒル常習ノ強竊盜ト云フ者ガ、短キハ三ケ月デ出監スル、強盜デモ一年デ出監スル、サウシテ三ケ月四ケ月ノ中ニハ大半舞戻テ來ルト云フ今日ノ狀況デアリマスカラ、ドウモ餘リ裁判所ノ自由裁量ト云フコ

トニ重キヲ置イテ、ア、云フ漠然タル規定ニナッテ居ル、是デハ面白クアルマイト云フコトデ、今度ノ刑法改正ノ際ニモ、其點ハ相當ニ考慮シタイト云フ大體ノ意嚮ガ委員會ニモ見エテ居ルノデアリマス、ソレデ此二條以下ニ於キマシテモ、大體サウ云フ精神デ刑期ヲ定メヤウ、斯ウ云フコトニナッテ居リマス

●山岡萬之助君

此刑法ノ三十六條ト第一條トノ關係ヲ法律ノ面カラ見テ御説明ヲ請ヒタイト思ヒマスカラ、少シク申上ゲタイト思ヒマス、前ニ司法大臣ノ御説明ガアリ、私共ノ間ニモ討論ガアッタ結果トシテ、一應ノ事ハ分クノデアリマスガ、此點ノ總デガ、是ガナケレバ裁判官ハ三十六條ヲ働カスコトガ出來ナイダラウカ、其點ヲハッキリ伺ヒタイ、第三十六條第一項ヲ此處ヘ出ス必要ハ私ハナイ、サウ云フコトヲシテ行クコトガドウモ世間ニ惡影響ヲ及ボスコトニナルト思フ、是ダケノ事ガ擴大サレテ居ル、是ダケノ點ニ於テ防衛權ヲ必要トスルノデアアル、斯ウ云フコトヲハッキリ一ツ伺ヒタイ、第三十六條デ適用ノ出來ル事マデラ、此處ヘ書現ハスト云フコトハ實ニ無益デアリマス、唯惡影響ダケ貽スコトニナルト私ハ思フ、ソレ故ニ先ヅ第一ニ極ク廣キ意味ニ

於テ、第一條ニ於テ、全ク第三十六條第一項ノ規定デハ適用ノ無イ分ハ唯第二項ダケデアアル、第一項ノ二ノ字句ヲ立案サレテ居ル間ニ御考ヘニナツタ點ガアルカ、其點ヲ先ヅ政府委員ニ御聽キシタイノデアリマス

●政府委員(泉三新熊君)

此趣旨ハ大體先刻司法大臣カラ答ヘラレタ通りニ私共モ考ヘテ居ルノデアリマス、刑法ノ第三十六條ノ解釋ト致シマシテハ、是等ノ場合ハ總テ正當防衛ト云フ解釋ハ出來得ルモノデアアル、裁判官モ固ヨリサウ云フ解釋ヲ與ヘルニ専門ノ人ハサウ困難ナコトデナカラウト思フノデアリマス、御承知ノヤウニ現行刑法第三十六條ハ舊刑法三百廿二條及三百十五條ノ正當防衛ニ關スル規定ヲ稍、一般的ニシタト云フノデアリマシテ、アノ舊刑法第三百十二條第三百十五條ノ防衛權ヲ、現行法ノ三十六條デ狹メラレタト云フコトハ、餘リ經過ノ上カラ言ッテモ無イノデアリマス、サウシテ此第一條ノ第一項ノ規定ハ、舊刑法三百十五條ヨリモ、モット狹クナッテ居ル位デアリマシテ、廣クハシテナイノデアリマス、從テ此事柄ガ現行刑法ノ第三十六條ノ中含マレテ居ナイトハ理論トシテハ考ヘラレナイノデアリマスケレドモ、餘リ三十六條デハ抽象的デアリマスル

ガ爲ニ、斯ウ云フ場合ニハ正當防衛ト云フコトヲヤッテモ無理ダト云フヤウナコトデ處罰サレハシナイカト云フコトヲ防衛者ノ方ニ於テ心配シテ、容易ニ防衛ヲヤラナイ斯ウ云フ狀態デアアル、デアアルカラ詰リ是ハ防衛者ニ對スル一ツノ教科書トシテハハキリトサセテ置ク方ガ宜カラウ、マア一種ノ立法解釋ヲ示シテ防衛者ヲシテ安ンジテ防衛スルコトガ出來ルヤウニシテ置ク方ガ宜カラウ、尤モ斯ウ云フ規定ガ出來タカラト云ッテ、ソレデヤ誰デモ先ヅ「ビストル」デモ備付ケテ強竊盜ガ這入ッテ來テ、此條件ガアレバ直グドント一發ヤルモノデアアルカト云フト、ソレハサウ法律ヲ楯ニシテ權利ヲ一般ニ行フト云フコトハ餘リナイカモ知レマセス、マア危キニ近寄ラナイデ、金デモヤッテ置ク方ガ一番巧ナ方法デアルト云フコトニナルデアラウト思ヒマス、此法律ガ出來テモ……、兎ニ角法律トシテサウ云フ風ニ餘地ヲ存シテ置ク、ハッキリシテ置ク方ガ宜カラウ、又爲ニ非常ニ狂暴ナ狀態ガ起ルカラト云フ問題ニ付テ、先程司法大臣カラ御答ヘガアリマシタガ、私一個ト致シマシテ申上ゲルコトハ、是ハ舊刑法ノ規定ヲ其儘ト云フヨリモ、舊刑法ヨリモモット狹クシテ居ル、ソレデ舊刑法ノ時代ハ現行刑法

三十六條ニナツテカラ後ニ比ベテ非常ニ狂暴デアツカト言ヘバ、サウデナカッタノデアリマス、別ニ舊刑法時代ト今日ノ時代トニ於テ此強盜ノ狂暴的手段ガ著シク變タ

トハ考ヘラレナイ、尤モ是ハ段々文化ノ進歩ニ伴ヒマシテ犯罪ノ手段モ色々改良セラレ、殊ニ此頃ハ世界的ニ犯罪ノ手段ガ狂暴的デアリ、又極メテ大袈裟デアアル、證據ヲ晦マスコトガ巧ミデアルト云フヤウナ、色々ナ點ガ殆ド世界的共通ノ現象ニナツテ居

リマスカラ、サウ云フ一般的ノ時勢ノ變化ニ伴ッテ、舊刑法時代ト今日ノ刑法時代ニ於ケル強竊盜ノ手段ガ違フトカ、狂暴性が違フトカ云フコトハ、ソレハ否定ハ出來ナイ

グラウト思ヒマスケレドモ、舊刑法ノ三百十五條ノアツタ時ニ、現行法ノ三十六條ノ規定ノ下ニ於ケルヨリモ手段ガ狂暴デアッタ云フコトハナカッタヤウニ私ハ考ヘルノデアリマス、ソレデ此規定ヲ設ケタカラト云ッテ、特ニサウ心配スル必要ハナイノデハナカラウカト云フコトヲ考ヘテ居ルノデアリマス

●委員長(伯爵二荒芳徳君) チョット御諮リ申上ゲマスカ、御意見ガアルカモ知レマセヌケレドモ、成ルベク此立法ノ精神、ソレカラ立法ヲ必要トスル理由等ノ範圍デ御質

問ヲ願ヒタイト思ヒマス

●山岡萬之助君 一般論ヲ先ゾオヤリニナルノデアリマスカ

●委員長(伯爵二荒芳徳君) ハイ、サウシテ若シ御意見ガゴザイマスレバ、又御意見ハ御意見トシテ御述ニナツテ宜シウゴザイマス

●山岡萬之助君 只今泉二政府委員ノ御説

明ニ依ッテ現行刑法第三十六條ヨリモ寧ロ第一項ハ狭イ程デアルト云フ御説明デアリマス、サウナリマスト云フト、現行刑法ノ

防衛權ト云フモノハ、我々ノ解釋シテ居ル所ハ人ノ生命身體ニ對スル防衛ト一括サレテ、茲ニ三十六條ガ出來テ居ルモノデアリマス、私ハ非常ニ廣イ範圍ニ於テ今日ノ防

衛權ガ出來テ居ルト考ヘテ居ル一人デアリマス、ソレ故ニ此刑法實施セラレテ既ニ二十年、裁判ノ進歩ト云フモノハドノ邊マデ來テ居ルカト云フコトヲ一々今申上ゲマセヌガ、我ガ防衛權ノ範圍ト云フモノハマダ餘リ伸ビテ居ナイヤウニ私ハ見テ居リマス、斯ウ云フコトハ無論裁判所ノナサルコ

トデ、司法省デドウスルト云フ譯ニ行クモノデモアリマセヌカラ、兎モ角現行刑法ノ三十六條ハ非常ニ廣イ解釋ガ私ハ出來ルト思フノデアリマス、即チ急迫不正ノ侵害ニ

對シテ自己又ハ他人ノ權利ヲ防護スル爲ニ已ムコトヲ得ザルニ出タル行爲ハ之ヲ罰シ

ナイト云フト權利防衛デ、民法ノ權利侵害ト同ジデ、殆ド我々ノ有ッテ居ル法益ノ總テハ防衛出來ルコトニナツテ居ルノデアリマス、而モ舊刑法ト違ッテ正當ニ防衛シ云々

ト云フノデハナイ、已ムヲ得ザルニ出タル行動ハ之ヲ罰セズト云フノデアリマスカラ、已ムヲ得ナイト云フコトデアレバ、防衛權

ガ實施出來ルノデアアル、餘程舊刑法ヨリ廣クナツテ、之ニ依ッテ我々ノ有ッテ居ル法益ノ總テ、而シテ已ムヲ得ナイ狀態デアレバ、

防衛權ガ施行出來ルト云フコトデアリマス、斯ウ云フコトデアリマスレバ、今ノ政府委員ノ御説明ノ如ク、一項ト云フモノハ無シニ解釋スルコトガ當然デアリ、又サウ

デナケレバナラヌト思フノデアリマス、若シ此立法ヲシテ有權的ニ解釋ヲ下スト云フト、今度ハ此以外ノ法益、即チ盜犯其他ニ關スル此書キ現ハサレタ以外ノ法益防衛ニ付デハ、動モスルト狭ク解釋サレル虞ガアリマス、此法案成立ノ結果ニ於テ、之ヲ審

議スル理由ニ於テ、現行刑法三十六條ノ防衛權ハ伸縮シナイト云フコトヲ明カニシテ見

タ所デ、裁判官ガ果シテドウ云フ態度ヲ執ルモノデアルカ、茲ニ特別ナル法律ヲ作

タカラ此方ハ廣イ、此外ノ方ハ法律ガナイカラドウシテモ狭ク解釋セナケレバナラヌ、斯ウ云フコトハ一應當然ノ推理法カラ來ル所デアリマス、サウ云フコトヲセナイ

デ當然入レルト云フナラバ、一項ノ如キハ左様ナモノデアルト云フコトニナル方ガ寧ロ適當ナコトニナリハシナイカ、殊ニ此以

外ノ法益ノ場合ニ於テハ非常ニ狭ク解釋サレル虞ガアルノデハナイカ、又モウ一ツハ小サイ問題ニナリマスカ、第一項ノ本文ニ於テ、關委員ノ一應御尋ニナツタ所ニ關係

イタシマシテ、自己又ハ他人ノ生命、身體、貞操ト云フコトニ限りマス、コクラ邊デ我々ノ法益ハ、自由ト云フ風ナコトハ何時モ附纏ウタ法益ニナツテ、貞操ト云フコトヲ刑法ノ法益トシテ現ハサレタト云フコトハ、生命、身體、自由、財産、是等ハ刑法ニアリマスカラ、此字ヲ此處ヘ特ニ現ハシテ行クト云フト、益、防衛ノ範圍ト云フモノガ此處デハ局限サレテ來ルト思ヒマス、

ニナリマスカ、先ヅソレノ御説明ヲ願ヒマ
ス

●政府委員(泉二新熊君) 是ハ現行刑法ヨ

リ狭クナッタ私ガ説明シタヤウニ只今御
話ガアリマシタケレドモ、サウ云フ趣旨デ
ハナイノデアリマス、舊刑法ノ三百十五條
ヨリモット狭イ部門ヲ、説明的ニ此處ヘ入レ
タト云フコトヲ申上ゲタ積リデアリマス、
現行刑法ニ對シテハ、少シモ現行刑法ノ規
定ヲ狭クスルト云フ趣旨ハナイノデアリマ
ス、先ヅ此方ニ掲ゲマシタノハ、自己又ハ
他人ノ生命身體又ハ貞操ト云フダケデア
テ外ノハ這入ッテ居ラス、殊ニ自由ト云フモ
ノガ這入ッテ居ラナイノカラ見ルト、狭クサ
レル處ガアリハセヌカト云フ御質問ノヤウ
デアリマシタガ、ソレハ先刻申上ゲマシタヤ
ウニ、生命、身體、自由其他ノ權利ニ對ス
ル急迫不正ノ侵害……急迫ノ侵害ト云フモ
ノガモウ始メテ居ルト云フ場合デアレバ無
論總テ刑法ニ依ルノデアアル、此一號、二號、
三號ノ侵害ハ是ハ所謂急迫ノ侵害デアアルケ
レドモ、其上ニ加フルニ生命、身體、貞操
ニ對スル現在ノ危險ガ感ゼラレルト云フ程
度ノ場合ダケヲ此處ニ入レタノデアアルト云
フコトヲ申上ゲタノデアリマス、サウシテ
現行法三十六條カラ考ヘテ、一號、二號、三

號ノヤウナ急迫ノ侵害ガアレバ、之ニ對シ
テ現行刑法三十六條ニ依ッテ正當防衛ヲ爲
シ得ルコトハ疑ガナイ、唯已ムコトヲ得ザ
ルニ出デルト云フ言葉ノ解釋ガ、必要ノ程
度ヲ超エタト云フ意味ニ解釋スル人ト、サ
ウデナイカノ意味ニ解釋スル人トガアルト
云フコトハ、私カラ別ニ御答ヘセヌデモ、
専門家ノ山岡委員ハ能ク御承知ノコトデア
リマスカラ申上ゲマセヌガ、必要ノ程度ヲ
超エタカドウカト云フ點ニ付テ、防禦スル
必要サヘアルナラバ、盜犯ヲ防止スル爲ニ
人ノ生命ヲ取ッテモ宜シイト云フ所マデ……
兎ニ角今日ハ通説デアアルノデアリマシテ、
山岡委員モ多分其通説ト同ジ御意見ヲ持ッ
テ居ラレルコト考ヘマスルガ、サウ云フ
通説ニ從ヒマスレバ問題ハナイノデアリマ
スケレドモ、一方ニ於テハサウ云フ學說ヲ
否認シテ、盜犯等ノ防止ノ爲ニ人ノ生命ヲ
取ルト云フコトハ必要ノ程度ヲ超エテ居
ル、ダカラソレハ處罰スベキモノダト云フ
說ガアル、サウ云フコトカラ致シマシテ、
現ニ今度ノ刑法改正ノ綱領ナドデモ必要性
デナク相當性ヲ以テ正當防衛ノ條件ヲ改メ
ルヤウニシヤウト云フノガ、綱領ニ於テモ
決議ニナッテ居ルヤウナコトデモアリマス、
ソレモ能ク御承知ノコトデアアルト思ヒマ

ス、ソレハ併シ裁判官ガ適用スルニ付キマ
シテハ、今日ノ刑法ノ三十六條ノ解釋トシ
テハ相當性ト解釋ハ出來ナイダラウト思ヒ
マススケレドモ、兎ニ角先刻カラ申シマスヤ
ウニ防禦スル人ノ方デ、斯ウ云フヤウナコ
トデ殺傷デモヤッタリスルト、處罰サレヤセ
ヌカト云フコトヲ心配スル、防禦スル人ニ
安心サセル是ハ規定デアアル、是ハ殺傷迄モシ
テ宜シイト云フコトヲ言ハウトスルノデア
リマスカラ、餘リ廣クヤッテハヤリ過ギル
カラ、此一條ノ本文デハ斯ウ云フ風ニ限ッ
テ置カウ、是ニ限ッテカラト云ッテソレデヤ
三十六條ノ正當防衛ト云フモノヲ狭メルノ
デアアルカト云フトサウデヤナイ、唯斯ウ云
フ場合、斯ウ云フ條件ガアル時ニハ、刑法
第三十六條ノ一項ノ防衛行為アリタルモノ
トスルト云フ解釋ヲ與ヘルダケデアッテ、刑
法三十六條一項ノ防衛ト云フモノハ斯ノ如
キ場合ニ限ッテ認メラレルノデアアルト云フ
風ニ限定シテアルノデナイカラ、サウ云フ
裁判官ノ適用問題ニ疑ヲ起サウナコトハ
アルマイ、斯ウ云フ風ニ立案ノ方デハ考ヘ
テ居ルノデアリマス、大分先刻御話ノアッ
タヤウナコトハ委員會アタリデモ議論ガア
リマシテ、研究ノ結果、只今申上ゲタヤウ
ニ考ヘテ宜カラウト云フコトニナッテ、是

ガマア採用サレテ居ルヤウナ譯デアリマ
ス、左様御承知ヲ願ヒマス

●委員長(伯爵二荒芳徳君) 皆サンニ御諮

リヲ致シマス、十二時モ過ギマシタカラ今
日ノ委員會ハ是デ打切りマシテ、明日ハ本
會議ガアレバ散會後、ナケレバ午前十時カ
ラ御願ヒ致シマス、サウシテ成ルタケ集約
シタ所ノ御意見ト御答辯ヲ願フコトニ致シ
タイト存ジマス、本日ハ是デ散會イタシマ
ス

午後零時七分散會

出席者左ノ如シ

委員長 伯爵二荒 芳徳君
副委員長 花井 卓藏君
委員 子爵曾我 祐邦君
富谷銈太郎君
男爵渡邊 修二君
山岡萬之助君
大津淳一郎君
關 直彦君

國務大臣

司法大臣 子爵渡邊 千冬君

政府委員

司法省刑事局長 泉二 新熊君

昭和五年四月三十日印刷

昭和五年五月一日發行

貴族院事務局

印刷者 内閣印刷局